

# 一般質問

6月議会では、13名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。

議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しておりますが、紙面上、文字数に制限があり、なかなか思いや考えを伝えることができません。しかし土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして、詳細をご覧ください。

## アクセス方法

### 視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒  
 議会ライブ中継 ⇒ 本日の議会中継  
 ⇒ 過去の映像 ⇒ 一般質問

### 文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒  
 議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

## 《第3回定例会一般質問》



○ 小栗 恒雄 ○

◆超深地層研究所の火災について  
 ①高レベル核廃棄物を地下に処分する研究をしている瑞浪超深地層研究所でボヤといえど絶対あつてはならないことです。ましてやビニール製の送風管が燃えたとのこと。ビニールの原料は原油であり可燃物であります。可燃物のビニール製の送風管を同研究所の坑道に使うことは論外であります。同研究所から土岐市に今回の出火についてどのような説明があつたのかを、答弁ください。  
 ②同研究所で五月十六日に発生した火災につきましては、五月二十五日に発生の事象、被害の状況や対応状況について説明を受けました。  
 ③四者協定の当事者で、安全委員会のメンバーでもあります土岐市は、出火の原因、同研究所の監視システム、作業員や見学者の避難、想定外の存在などについてどのような説明があつたのかを、答弁ください。  
 ④何点か質問をいただきました。監視システムは、坑内に28台の監視カメラが設置されており、中央監視室

でモニター確認ができます。避難訓練は、毎年度総合防災訓練を実施されており、見学者のコースに避難所を設置するなど対応しています。  
 ⑤坑道に可燃物があることは大変なことであるが、出火原因は特に何があつたのか、説明はありましたか。  
 ⑥あの場所で火災が発生した原因の可能性は、漏電によるもの、不審火によるもの、その日行われていた溶断作業の火花によるものが想定されます。坑内の電気分電盤と中継器の緊急点検をしましたが異常はなく、漏電による可能性はありません。不審火については、監視カメラを詳細に確認しましたが、侵入者は確認できませんでした。溶断作業の火花については、関連性は調査しています。90メートル先で火災を起こすことは、一般的には考えられない。こういった理由の中で、科捜研の調査を踏まえ原因を究明しています。  
 ●三点ほど原因を述べていただきましたが、どれも可能性が低いとのこと。とうことは、要するにあの坑道では火災が起きる可能性が十分あるということなんです。そして原因もわからないということ。核廃棄物を地中に処分することは、作業の途中や地中処分した後からも、火災が起きる大変危険なことから、私は認識させていただきました。



和田 悦子

◆持続可能な社会について

このところの気候変動、地球温暖化は、豪雨、洪水、台風などの被害を頻繁にもたらしている。

問地球温暖化対策実行計画は33年までに12%の削減目標となっているがクリアできるのか？具体策は？

答目標達成は大変厳しい状況にある。見直しに当たっては施設の管理者と個別に対策をする。

問地球温暖化対策事業の事業評価がB評価となった理由は？

答計画の見直しが必要であるということ。省エネ、資源リサイクルに関わる事業と今後の課題もあることからB評価とした。

問街路灯のLED化促進のための補助金交付についての取り組みや達成についてお聞きしたい。

答H24年度から事業を継続している。大体1年間に40件程度の件数を予算化している。自治会からも継続してほしいという話があり、終了は具体的に決めていない。

問住宅用の太陽光発電システム設置

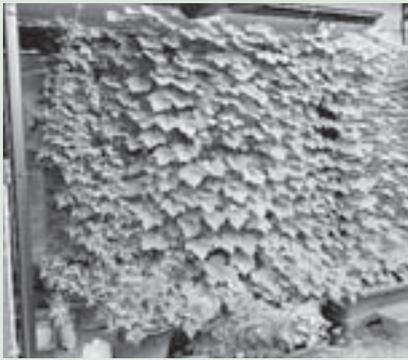
の補助制度での設置状況は？

答H21年からH27年で709件となっている。

問持続可能な社会に環境基本条例という大きな枠組みで地球環境問題に対する指針となるものが必要と感じている。H20年には環境基本条例の策定を進めていると回答しておられる。また、H26年には必要性が感じられないとの記述もある。土岐市の方針はどのようになっているのか？

答環境基本条例は一般的に理念条例と呼ばれる。生活環境保全に関する条例の制定と環境保全都市宣言をしている中で環境に関する理念等は規定されていると考えている。環境基本条例を制定する必然性が大きいなという判断をした。

答（市長） 条例は少なくともシンプルが一番と思っている。必要かどうか、今後精査していきたい。



地球にやさしい緑のカーテン

《第3回定例会一般質問》



後藤 久男

◆ごみ処理の課題と将来ビジョンについて

問ごみ処理手数料の値上げで30年度の収入の試算について。

答生活系の一般廃棄物処理手数料1億1千446万3千円・事業系は2千779万3千円・産業廃棄物は7千329万7千円で合計2億1千575万3千円。将来の施設整備のための基金とごみ処理行政にかかる経費に充てる。

問自治体が支援の主体となる直接支援型と自治会やNPO等が支援の担い手となるコミュニティ支援型について、収集時に声かけを行ったりし、見守りのネットワークを連携して、異変に対応することが出来るもので、高齢者の見守り支援に「石二鳥」と考える、高齢者ごみだし支援ガイドブックを導入してはどうか。

答このような体制が構築されることは、ゴミ出し支援には非常に効果的であり、また高齢者の見守りにもつながる意義あるものと考えている。

問高齢者の水分を含んだ紙おむつは

益々増える傾向にあると思うが、分別処理の必要性はないか。

答今年度中に使用済みの紙おむつのリサイクルの普及に関するガイドライン、指針を策定する。

問環境センターの建設予定地及び基金並びに広域での建設について。

答焼却施設は現在の施設の隣の敷地で可能、最終処分地をどこに設けるかが一番課題であり、候補地を探すべきときがくると思う。市の持ち出しがあり、一時的な出費に備えて基金を積んでいけば、単独でも十分財源はあると思う。場所の問題とか非常に難しい今後の課題と思う。

◆市有地の空地管理等について

問行政目的のない普通財産は処分することが原則であるものの、実際は地域住民の公益のために使用されている財産で、管理については自己負担・自己責任でなく、新たなガイドラインの作成など柔軟に対応できるように見直す必要があると思いませんか？

答（市長） 基本的には行政目的に使わないというのが確定した土地に関してはできるだけ処分していきたい。売却したい、もしくは貸していた方がいいということがあれば貸すという事は市の財源確保につながるの、積極的にやっています。



北谷 峰二

◆土岐市立総合病院について  
 ◎病院敷地内に開業した門内薬局について。

◎外来の処方が今まで院内処方であったが全面的に院外へ出したという目的で措置を講じた。患者さんの戸惑いや混乱を予想し4月からの院外処方の周知に努めスムーズに院外処方に移行できた。

◎病棟薬剤業務（実施加算）は行われていないと思つが。

◎午前中中心にやっていた外来患者さんの処方業務がほぼ無くなり薬剤師はこぞって病棟へ今上げており実施加算は5月から算定している。

◎コンサルタントについて。コンサルが入ったことにより医師をはじめ看護師等現場職員の意識の変化は。

◎コンサルタントの業務内容は病院の経営改善に関する現況調査をし収益面は新規算定項目の候補や算定を更に強化すべき項目の抽出。算定が出来ていないものについて何故出来ていないのかの理由の精査をしようしたとれるのかの調査、改善に向けた

調査また診療報酬改定も同時にありその中で何を取りに行くべきか等々まず収入面について調査、平行して支出面では費用額の大きい薬品費材料費などの購入方法の分析金額の大きい委託料の積算内容の解析等を行い経費削減の取り組みをどの様に行うかといった事の調査をし病院幹部とのヒアリングを通じ経営改善に対する意識付けや病院の方針について意見交換をしてこれから皆で頑張っていくぞと宣言をさせて頂き徐々に変化はしてきていると感じている。

◎市長にお尋ねします。市長自ら今年2月に新聞報道で東濃厚生病院と一病院化がベターとコメントされています。そうであれば岐阜厚生連さんに医師の派遣をお願いするべきと私は単純に考えるが市長は厚生連さんをお願いするという行動はされないのか。

◎全体的にみて厚生連も医師不足に悩んでみえるという話があり派遣して頂けるといふような余裕は無いと思つている。

◎三者協議会について3月定例会で具体的な内容についてお答えを控えているが具体的な提案等出てきて議論されているのか。

◎三者それぞれの立場で今後の方向性検討するが議論する状況でない。

《第3回定例会一般質問》



小関 篤司

◆小中学校のエアコン設置について  
 ◎2017年岐阜県下の小中学校のエアコン設置率は55・2%です。最近では文部科学省の学校衛生法の基準で28度以下に見直しされたが、普通教室の温度管理はどうか。

◎小中学校の普通教室ないし職員室等には当然温度計を設置しています。各学校の判断のもと温度管理がされ、適切な方法で指導されています。

◎実際6月に学校に行つたんですが、校長先生は「温度管理やっていない」といふ先生もいましたし、温度計も設置していない学校もあったが誰がどう調べているのですか。

◎基本的に養護教諭、教頭先生だと思つています。温度計が設置されていないというのは聞いていません。

◎熱中症計が備えてある学校がほとんどで状況を管理、把握しています。

◎実際温度は記録されているのか。

◎学校によって違いますが、昨年度30度を超える日は多いところで10日いかない程度でした。

◎新しい基準では28度以下になった

が、対策はどう考えているか。  
 ◎好ましい温度という基準で、基準が変わったから、突然温度が急激に上がるわけではないので、現状を分析しながら考えていきます。

◎実際に学校に行つて調べたら6月初めで28度から29度でした。幼稚園では昨年9月のデータを見せてもらったら30度を超える日も何日もあり、33・5度の日もありました。生徒の熱中症等による体調不良は発生していませんか。

◎教室内で熱中症等を発症し、救急搬送などをした例はここ2年間で報告を受けていません。早退は2件ありましたが、いずれも軽症でした。

◎普通教室のエアコン設置費用は。

◎おおよそ2億3250万程度です。さらに高圧受電設備の改修で恐らく数億円単位が想定されます。

◎国からの交付金で3分の1の補助が活用出来るのではないですか。

◎設置費の3分の1は見込めるが、周辺設備まで届かないと思つています。

◎暖房が古くなっているが更新は。

◎たしかに老朽化していますので、今後検討しなくてははいけません。

◎市長はどのような考えか。

◎（市長）近い将来、みんなつけるようになると思つています。国の財源を使い、全体の予算枠とか近隣の状況を見て考えなくてははいけません。